

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	9		法令基準に合わせたスペースを確保しています。療育室と余暇室を分ける等落ち着いて活動に取り組みやすくなっています。	
	2	9		基準よりも多くの職員を配置し、情緒面、学習面等、多面から考え、個々に適した療育ができる環境を維持しています。	
	3	9		分かりやすい生活同線や掲示物を意識し、児童の特性に応じた環境作りを心掛けています。玄関の段差も低くし上がりやすいよう工夫しています。	
	4	9		療育前には必ず手洗い・消毒をしています。椅子・机・教材・ドアノブ等の消毒や定期的な換気を行い、衛生的な環境を保っています。	
業務改善	5	9		定期的な職員会議を開催し、全職員が参加して日々の課題や改善点について話し合うように努めています。	
	6	9		いただいたご意見を全職員で共有、検討し業務改善に努めています。	
	7	9		COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開しております。	今後も公式 Web サイトで公開してまいります。
	8	9		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
適切な支援の提供	10	9		社内で統一されたアセスメントシートを用いて一人ひとりにあった計画を立案しています。	
	11	9		使用する書式を統一し、年齢、特性に合わせたアセスメントツールを使用して適応行動の	
	12	9		保護者様と児童のニーズを汲み取りガイドラインから必要な項目を選択して、児童に適した具体的な支援計画を作成しています。	
	13	9		児童発達支援計画に沿った支援が行えるよう職員間で共通認識を図り、支援に当たっております。	
	14	9		活動内容は個別支援計画をもとに職員がチームとなって協議しながら立案しております。	
	15	9		職員間で話し合い、固定化しないよう工夫しています。	
	16	9		個別療育だけでなく、集団療育を行い、児童の発達状況や保護者様のニーズに合わせた支援計画を作成しています。	
	17	9		当日の支援内容や役割分担を支援開始前に確認し、前回の様子や気づきを職員間で共有し支援に繋げています。	
	18	9		その日の気づきや変わったことがあれば共有し、職員間で話し合いや振り返りを行っています。	
	19	9		利用の度に必ず記録を残し、気づいた内容を共有、確認できるようにしています。	
関係機関や保護者様との連携	21	9		担当者会議には、その児童の状況を一番把握している児童発達支援管理責任者や保育士が参加しています。	
	22	9		保育園、幼稚園、こども園と密な連携を図り、必要に応じて児童の様子や日々の支援について情報を共有しております。	
	23	1	8	現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	24	1	8	現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	25	9		必要に応じて、幼稚園・保育園・こども園への電話連絡や訪問を行い、情報共有に努め、よりよい支援に繋がるように配慮しています。	
	26	9		幼稚園・保育園・こども園での状況を把握し、関係機関と連携を図りながら進捗先へ情報共有と相互理解を図っています。	
	27	5	4	中讃地区 COMPASS 児童発達支援センターをはじめとした専門機関との情報交換や共有を図っています。また、オンラインを活用し外部の研修へも参加しております。	全職員を対象とした外部との研修や対面での研修は実施できなかったため、今後は感染症の流行状況をみながら積極的に参加してまいります。
	28	9		現時点では交流の機会を企画できていません。	コロナ収束後に、保護者様のご意見を踏まえ、地域と連携や交流を検討してまいります。
	29	9		現時点では協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等への参加はできておりません。	コロナ収束後には、積極的に参加してまいります。
	30	9		送迎時に保護者様へ訪問した際や、来所された際に児童の様子や状況を保護者様に伝え、共通理解に努めています。	
保護者様への説明責任等	31	9		保護者様からの子育てのお悩みや、ご相談内容によって電話や面談をおこない、その状況に応じて対応しております。	
	32	9		運営管理責任者や児童発達管理責任者が対応し、丁寧な説明に努め、いつでも質問に答えられるようにしています。	
	33	9		ガイドラインに基づいた支援計画を作成しています。初回利用日までに支援計画の内容を説明し、保護者様の同意を得て署名捺印をいただき、控えをお渡しした後に利用を開始しています。	
	34	9		保護者様からの相談内容に応じて、さまざまなキャリアの職員が児童に何が必要か保護者様と一緒に考え、解決を目指しています。	
	35	9		現時点で、父母の会を開催する機会を持つことができておりません。	感染症の流行状況をみながら、個人情報に留意し、保護者様同士で意見や情報を交換できる場の企画をおこなってまいります。
	36	9		苦情への対応について苦情窓口のご案内をしており、解決のための会議も随時実施できるように役割分担をしています。	
	37	9		COMPASS だよりを期間発行し、公式 Web サイトのブログや YouTube 等の SNS で活動や児童の成長をご紹介しております。また、連絡帳カレンダーの裏面に日々の療育やイベントの様子を発信しています。	
	38	9		個人情報は鍵付き書庫で保管し、守秘義務については職員が児童に何が必要か保護者様と一緒にご説明しております。	
	39	9		個々の特性に応じ、児童が理解できるように伝え方に配慮しています。保護者様へは専門用語を使わず分かりやすい言葉でお伝えできるよう努めております。	
	40	9		行事に地域の方を招待する等の企画には至りませんでした。	感染症の流行状況をみながら、保護者様のご意向をお聞きしたうえで、地域住民参加の行事も検討したいと考えております。
非常時等の対応	41	9		各種マニュアルを策定し、玄関に掲示しており、防災活動や訓練、さまざまな災害を想定して実施しています。	
	42	9		年度初めに年間計画を立て、定期的にさまざまな災害を想定した訓練を実施しています。	
	43	9		アセスメントの際に児童発達支援管理責任者が責任をもって保護者様へ十分に確認しております。また、つらん発作、エピソードの使用等の対応についても事業所内で全職員に周知しております。	
	44	9		アレルギーについては初回アセスメントの際に保護者様から聞き取り、全職員への周知・情報共有を徹底しています。	
	45	9		ヒヤリハットは報告書を作成し全職員に共有して再発防止に努めています。	
	46	9		感染症対策の為に外部への研修は参加できていないため、年間の計画を作成し、研修資料に基づいて虐待防止に関する勉強会を実施しています。	
	47	9		利用契約書にあるように生命または身体を保護するために、やむを得ず身体拘束を行う可能性のある場合は、支援計画に記載し、保護者様の同意を得ております。	

〇この「事業所における自己評価結果 (公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。